



1-1 参考文献リストのみかた

論文を作成する時、最初に自分の研究テーマに関連した雑誌論文や図書などを読むことが必要です。それには、論文や図書の章毎や本文の最後に載っている参考文献(引用文献、Reference)を利用して関連する論文や図書を収集していく、という方法が基本です。ここでは参考文献リストのみかたについて一般的な例を説明します。なお、個々の雑誌毎に参考文献の書き方が決まっていますので、記載順、省略方法などに若干の違いがあります。今回の例では、APA(American Psychological Association):アメリカ心理学会が定めた文献記述スタイルを使用しています。

例1.【雑誌中の論文を引用－1】論文著者名(年)論文名 雑誌名 巻号 ページ

Su, L. K., Kinzler, K. W., Vogelstein, B., Preisinger, A. C., Moser, A. R., Luongo, C., Gould, K. A., & Dove, W. F. (1992). Multiple intestinal neoplasia caused by a mutation in the murine homolog of the APC gene. *Science*, 256(5057), 668-670.
 論文著者名
 年 論文名
 雑誌名 巻号 ページ

例2.【雑誌中の論文を引用－2(論文名が省略)】論文著者名(年)雑誌名 巻号 ページ

Ostrowski, J., Sims, J. E., Sibley, C. H., Valentine, M. A., Dower, S. K., Meier, K. E., & Bomsztyk, K. (1991). *J. Biol. Chem.* 266(19), 12722-12733.
 論文著者名
 年 雑誌名 巻号 ページ

雑誌名は略誌名で書かれていることが多い。

例3.【雑誌中の論文を引用－3(掲載巻号やページが決定していない)】論文著者名 (in press) 論文名 雑誌名

Teller, D. C., Okada, T., Behnke, C. A., Palczewski, K., & Stenkamp, R. E. (in press). Advances in Determination of a High-Resolution Three-Dimensional Structure of Rhodopsin, a Model of G-Protein-Coupled Receptors (GPCRs). *Biochemistry*.
 論文著者名
 論文名
 雑誌名

in press とは、雑誌に掲載されることは決まっているが、まだ掲載巻号やページが決定していないもの。ごく稀に掲載予定が取り消されることもある。

■よく使用される略語

anon.	作者不明の	anonymous の略	id.	同上の、同著者の	Idem の略
diss.	博士論文	Dissertation の略	op. cit.	前掲書中	Opere citato の略
ib., ibid.	同じところに、同書	Ibidem の略			

例4.【図書中の論文を引用】論文著者名(年)論文名 In 本の著者名 本の書名(掲載ページ) 出版地 出版者

Williams, R. R., Hopkins, P. N., Hunt, S. C., Schumacher, M. C., Stults, B. M. Wu, L. L., & Hasstedt, S. J. (1994). Inherited susceptibility to metabolic complications of obesity. In C. Bouchard (Eds.), *The Genetics of obesity* (pp147-159). Boca Raton, Fla.: CRC Press.
 論文著者名
 年 論文名 本の著者名
 本の書名 ページ 出版地 出版者

例5.【特許を引用】 発明者（公開特許公報等の発行の日付年） 特許番号

Frank, D. S., & Sundberg, M. W. (1981). U.S. Patent No. 42833382.

発明者 年 アメリカの特許番号

特許は、インターネットで閲覧できる場合や、文献複写・図書貸借が可能な場合がある。

例6.【会議資料を引用】 論文著者名（年月） 論文名 会議名 開催地

Miller, J. D. (1992, April). *Science achievement: Differences among urban, suburban, and*

論文著者名 年月 論文名

nonmetropolitan schools. Paper presented at the the annual meeting of the American Educational

会議名

Research Association, San Francisco.

開催地

会議の際に出席者のみに配布されたペーパーなど、公に出版されない場合もある。

入手方法は会議の開催団体への問合せ、インターネット上での公開を探すなど。

例7.【電子文献:Web ページの論文を引用】 論文著者名(あれば) 論文名 雑誌名 巻号 ページ Retrieved from URL

Nida, E. (1992). *Sociolinguistic Implications of Academic Writing*. *Language in Society*, 21(3),

論文著者名 年 論文名 雑誌名 巻号

477-485. Retrieved from <http://www.jstor.org/stable/4168371>

ページ URL

Webページは参照日以降に内容が更新されたり、削除されたりすることもあるので注意が必要。

■探している論文の情報が足りない場合

論文の情報が部分的にしか分からない(ex: 採録雑誌、論文名が分からない)時は、分かっている範囲の情報から、文献検索データベースを調べたり、電子ジャーナルの検索機能を使ってみてください。検索してそのまま Abstract や本文が読めることもあり、関連文献を探すこともできます。略誌名を調べる時は、以下で確認できます。

ABBREVIATIONS <http://www.abbreviations.com/> (参照 2021.11.16)

NCBI - NLM Catalog <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/?db=journals> (参照 2021.11.16)

■手がかりがつかめない場合

引用文献について手がかりがない場合は、所属学部・学科の図書室、または中央図書館 参考調査・相互利用カウンターへお尋ねください。その際、参考文献が掲載されていた雑誌や図書、あるいは、該当部分のコピーをお持ちください。

■他の文献記述スタイル例

①SIST02: 科学技術振興機構(JST)の科学技術情報流通技術基準(SIST)のひとつ(特に科学技術を対象)
→科学技術情報流通技術基準 参照文献の書き方

http://jipsti.jst.go.jp/sist/handbook/sist02_2007/main.htm (参照 2021.11.16)

→参考文献の役割と書き方 科学技術情報流通技術基準(SIST)の活用

https://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf (参照 2021.11.16)

②MLA(Modern Language Association of America): 米国現代語学文学協会が定められたスタイル(特に人文系を対象)

→The MLA Style Center <https://style.mla.org/> (参照 2021.11.16)

→MLA Handbook, 8th ed. 2016. (3F Cent Lib・Ref 836.5 M)

Next Step

文献管理ツール「EndNote オンライン」や「RefWorks」などを使うことで、希望の文献記述スタイルに合わせて引用・参考文献リストを作成することができます。

文献管理について → ガイドシート 6-5 「[検索結果を管理する\(文献管理ツールへの出力\)](#)」